

2021年3月期
決算資料

2021年5月14日

株式会社 TBS ホールディングス

2021年3月期決算

- ▶ 連結全体では減収減益。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、メディア・コンテンツ事業のTBSテレビのタイム・スポット収入や催事・興行収入、ライフスタイル事業の収入等が大幅に減少。
- ▶ 巣ごもり需要をとらえた配信やショッピング、DVD販売等は好調に推移。

2022年3月期業績見通し

- ▶ 放送関連やライフスタイル事業の回復や配信関連の伸長等で、増収かつ経常利益までの増益予想。

「VISION2030」「中期経営計画2023」を同時発表

- ▶ 「VISION2030」では、2030年にはコンテンツグループとして成長事業領域・放送事業以外がグループ売上の60%を占めるまでに拡大。
- ▶ そのフェイズ1として、「中期経営計画2023」では、2023年度までに「コロナショックからの回復と成長戦略による収益拡大」を推進。

- ▶ 感染症拡大により、タイム・スポット収入や催事・興行収入の減少、店舗の休業・時短営業等が大きく影響し、減収減益。

(単位：百万円)

連 結	2020年3月期	2021年3月期	前年差	増減率
売 上 高	356,796	325,682	△31,113	△8.7%
営 業 利 益	13,103	10,841	△2,262	△17.3%
経 常 利 益	21,274	19,233	△2,041	△9.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	30,174	28,072	△2,101	△7.0%

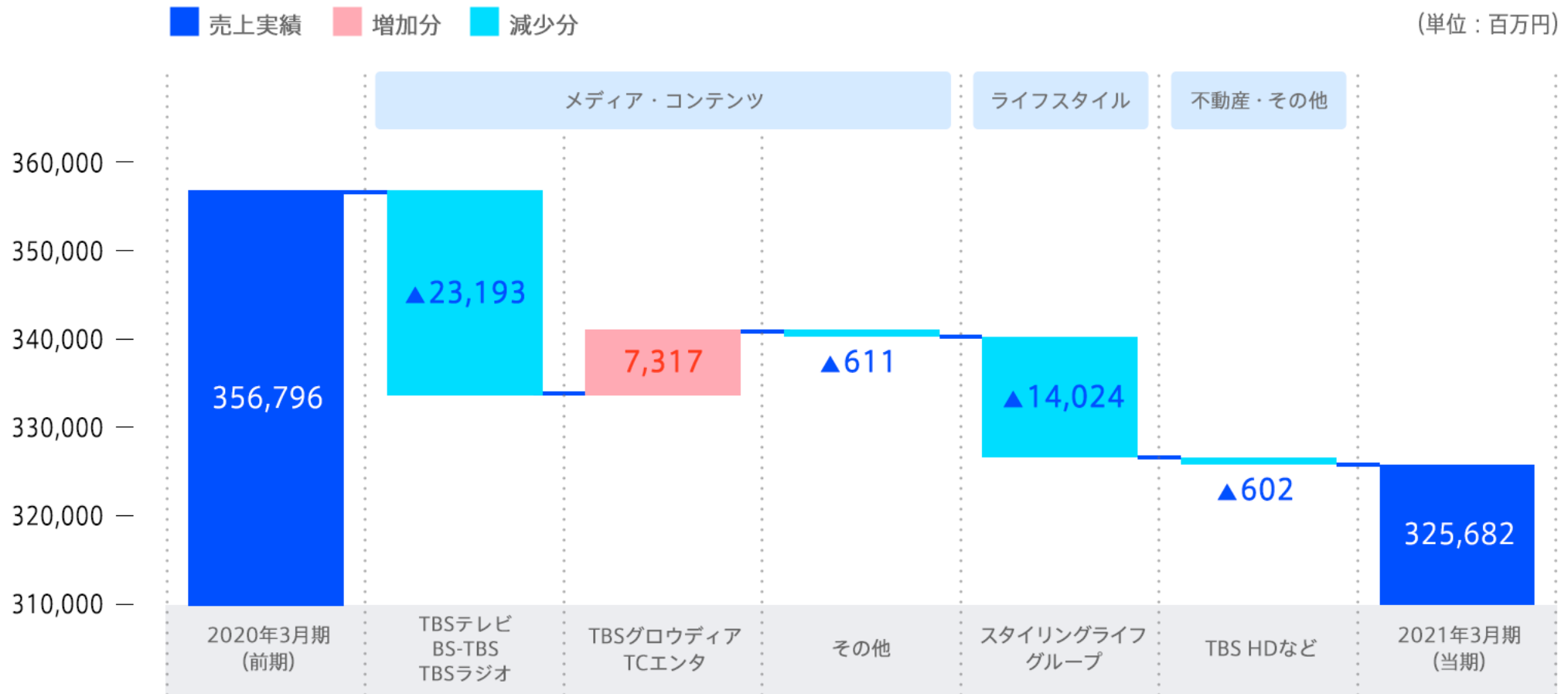
(単位：百万円)

	外部売上				営業利益			
	20年3月期	21年3月期	前年差	増減率	20年3月期	21年3月期	前年差	増減率
メディア・コンテンツ	270,265	253,778	△16,486	△6.1%	2,409	2,881	471	19.6%
ライフスタイル	70,007	55,983	△14,024	△20.0%	2,751	281	△2,470	△89.8%
不動産・その他	16,523	15,920	△602	△3.6%	7,942	7,679	△263	△3.3%
連結	356,796	325,682	△31,113	△8.7%	13,103	10,841	△2,262	△17.3%

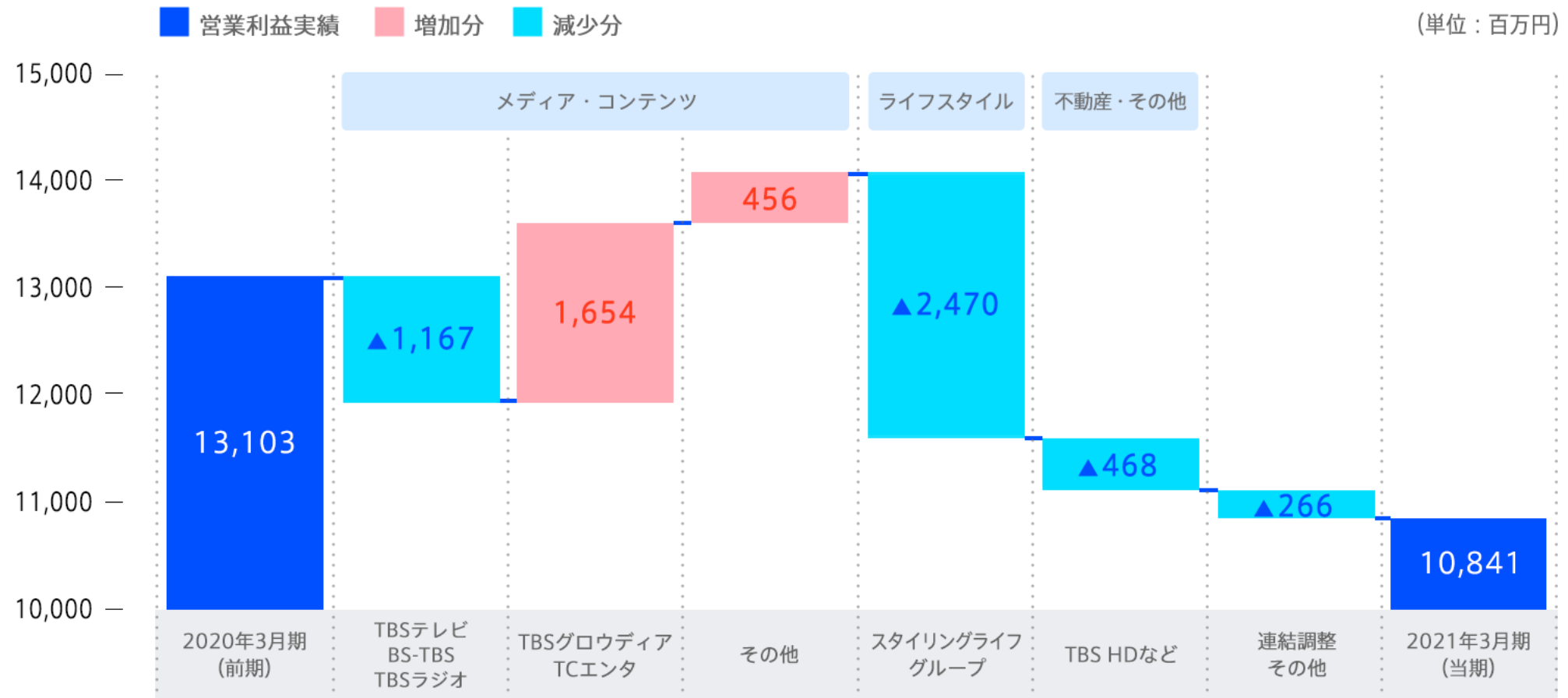
増減要因	外部売上		営業利益	
メディア・コンテンツ	TBSテレビ (△20,575) TBSラジオ (△1,075) 日音 (△376) TCエンタ (+2,734)	BS-TBS (△1,542) 東通 (△671) スパークル (+870) グロウディア (+4,583)	TBSテレビ (△1,507) TCエンタ (+267) グロウディア (+1,387)	東通 (△166) TBSラジオ (+368)
ライフスタイル	SLG (△14,024)		SLG (△2,470)	
不動産・その他	TBS HD (△996)	TBSヘクサ (+444)	TBS HD (△308)	TBSヘクサ (+54)

連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

▶ 感染症拡大の影響を大きく受けたメディア・コンテンツ事業の放送関連会社やライフスタイル事業が大幅な減収。



▶ 巣ごもり需要でDVD販売やショッピング事業が好調だった会社は大きく増益。
 しかし全体としては、売上減少をカバーできず減益。



(単位：百万円)

連 結	2021年3月期	前年差	2022年3月期 予想
設備投資	39,614	20,752	50,660
減価償却費	13,971	△403	13,751

TBSテレビ	2021年3月期	前年差	2022年3月期 予想
設備投資	6,158	△1,779	13,103
減価償却費	8,331	△183	8,295

(単位：百万円)

	2020年 3月末	2021年 3月末	比 較		2020年 3月末	2021年 3月末	比 較
流動 資産	158,800	190,053	31,252	流動 負債	81,021	86,176	5,154
				固定 負債	110,072	219,162	109,090
				負債 合計	191,093	305,338	114,245
固定 資産	624,223	910,170	285,946	純資産 合計	591,931	794,884	202,953
				自己 資本	578,361	781,373	203,012
				非支配 株主持分	13,569	13,511	△58
資産 合計	783,024	1,100,223	317,199	負債・ 純資産 合計	783,024	1,100,223	317,199

期末有利子負債残高：約276億円（前期末比 +258億円）

※リース債務は除く

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年差
営業活動による キャッシュ・フロー	21,406	22,713	1,306
投資活動による キャッシュ・フロー	5,962	△8,618	△14,580
財務活動による キャッシュ・フロー	△14,202	16,898	31,101
現金及び現金同等物の 増減額	12,956	31,002	18,046
現金及び現金同等物の 期首残高	72,033	85,059	13,026
現金及び現金同等物の 期末残高	85,059	116,061	31,002

TBSテレビの業績

▶ タイム・スポット収入や催事・興行収入等の減少により、営業利益・経常利益が減益。
 当期純利益は、投資有価証券売却益等の計上で大幅に増益。

(単位：百万円)

TBSテレビ	2020年3月期	2021年3月期	前年差	増減率
売上高	210,384	189,615	△20,769	△9.9%
営業利益	4,418	2,449	△1,969	△44.6%
経常利益	7,327	4,736	△2,591	△35.4%
当期純利益	6,255	21,793	15,537	248.4%

営業費用等

テレビ部門営業費用

番組原価 △11,061 代理店手数料 △3,436(今期 26,099) NW費△1,577

事業部門営業費用

特別利益 (投資有価証券売却益) △7,477

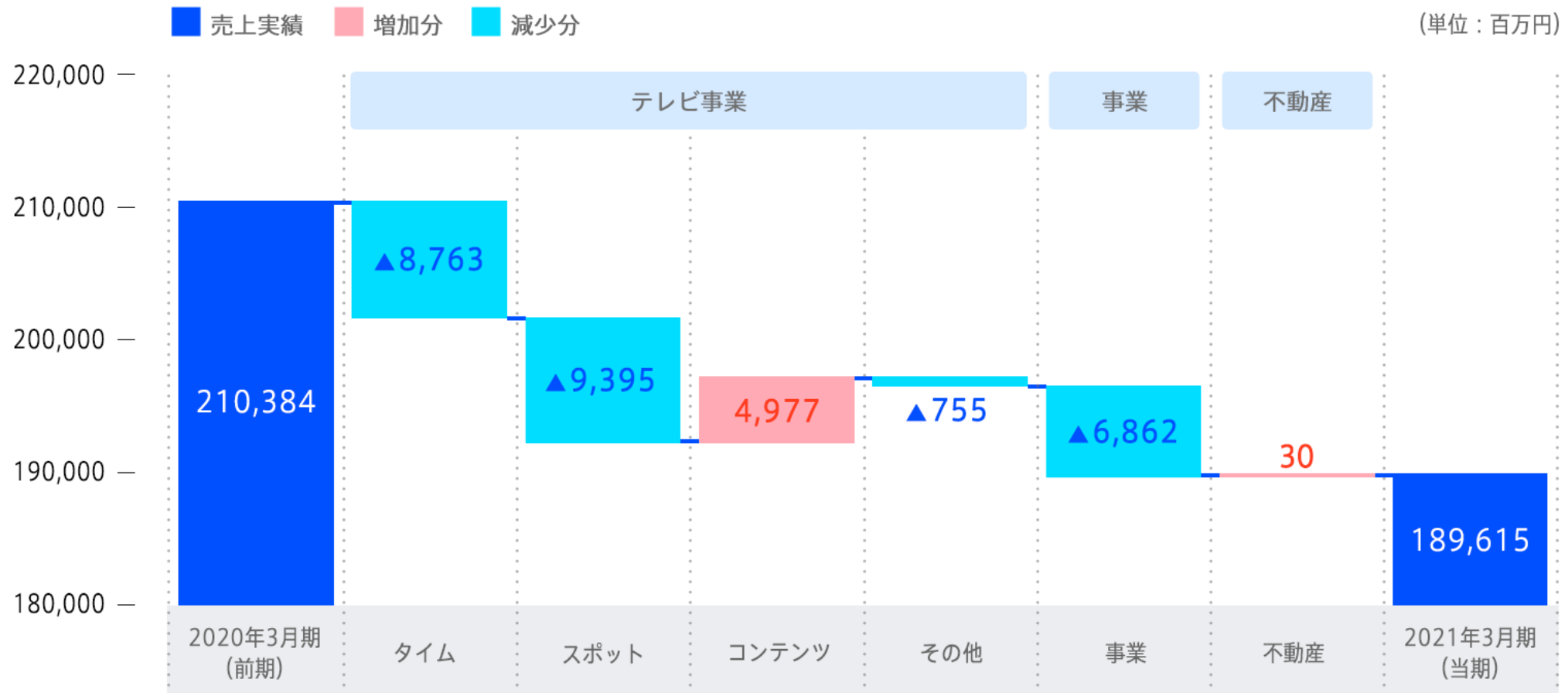
特別損失 (感染症拡大に伴う損失等) 29,756

1,217

(単位：百万円)

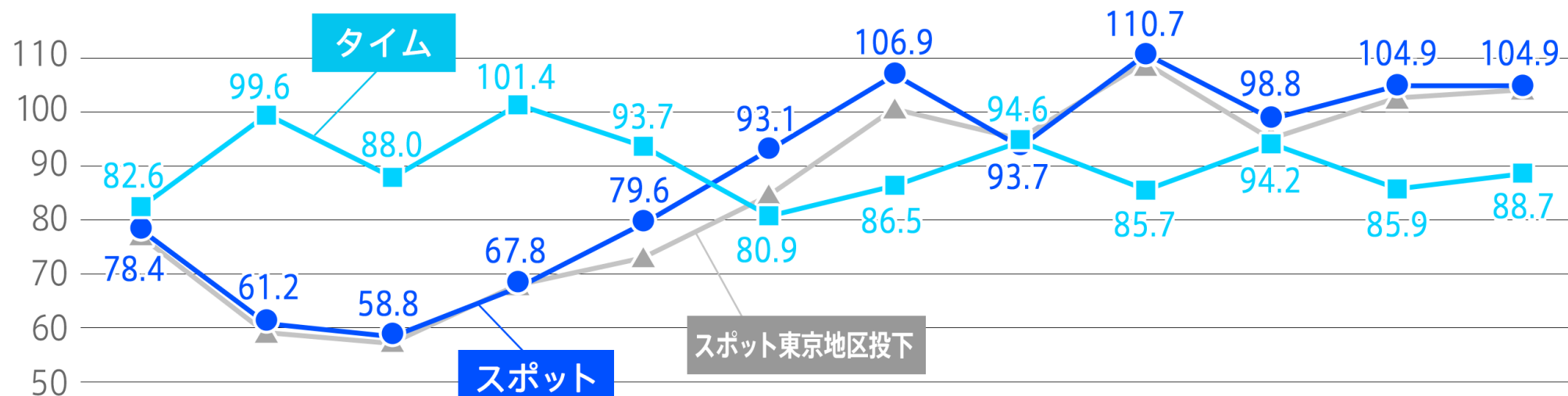
	2021年3月期	前年差
テレビ事業	168,147	△13,936
(タイム)	78,467	△8,763
(スポット)	69,879	△9,395
(コンテンツ)	15,870	4,977
(その他)	3,929	△755
事業	18,441	△6,862
不動産	3,026	30
収入合計	189,615	△20,769

- ▶ テレビ事業部門のタイム・スポット収入、事業部門の収入は減収だったが、巣ごもり需要や他部門からの配信事業移管等で無料・有料配信事業が伸長したコンテンツ収入が増加。



タイム・スポット収入 対前年比

(単位：%)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
スポット 東京地区投下	77.4	59.6	57.6	68.3	73.3	84.7	100.7	95.2	109.2	95.2	102.7	104.2	86.4

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期累計
タイム	89.8	91.3	89.0	89.9	90.0
スポット	66.6	79.3	103.5	103.0	88.1
TBS 5局シェア (推計)	20.5	20.2	19.4	19.3	19.7

(単位：%)

	2021年3月期	増減率	シェア	第4四半期(1月-3月)	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	4.4	17.8	情報・通信・放送	23.7	19.5
2	食品	△10.5	10.3	外食・サービス	7.6	8.7
3	酒・飲料	△14.6	9.0	酒・飲料	20.0	8.4
4	医薬品	△13.1	8.2	食品	△7.2	7.9
5	化粧品・トイレタリー	△14.1	6.9	金融	15.6	6.5
6	外食・サービス	△13.7	6.9	不動産・建設	△24.1	5.4
7	自動車・輸送機器	△13.1	5.5	医薬品	△14.7	5.4
8	交通・レジャー	△39.0	4.7	化粧品・トイレタリー	2.7	4.9
9	金融	△23.3	4.6	交通・レジャー	△37.2	4.6
10	不動産・建設	△25.7	3.6	自動車・輸送機器	△19.4	4.5

※ 順位は金額順

▶ 大型スポーツイベントの中止が相次いだことや
ロケ・取材活動の制限等により、前年より大幅に減少。

(単位：百万円)

	2020年3月期実績	2021年3月期実績	前年差
第1四半期	24,066	17,698	△6,367
第2四半期	24,598	22,806	△1,792
第3四半期	25,748	23,983	△1,764
第4四半期	25,059	23,920	△1,138
(直接費)	19,996	19,338	△657
(間接費)	5,063	4,581	△481
通期累計	99,471	88,410	△11,061
2022年3月期見込み		97,415	
	(地上波直接費)	77,916	
	(その他直接費および間接費)	19,499	

テレビ番組原価に含まれる主な費用	直接費：番組制作費、放送権料、美術制作費、技術制作費 間接費：減価償却費、社員人件費等の配賦原価
------------------	---

▶ ゴールデン帯、プライム帯で2位に上昇。
全時間帯で視聴率アップ。

(※ []内は前年同期差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	③2.4 +0.4 UP	②4.5 +0.4 UP	②4.6 +0.4 UP	③1.8 +0.4 UP
日本テレビ	①4.5	①7.2	①6.9	①3.8
テレビ朝日	③2.4	④4.0	④4.3	③1.8
テレビ東京	⑥0.9	⑥2.4	⑥2.2	⑥0.5
フジテレビ	②2.8	②4.5	③4.5	②2.4
NHK	⑤1.4	⑤3.3	⑤2.8	⑤1.0
PUT	15.9	28.0	27.3	12.6

(2020/3/30~2021/3/28：週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

- ▶ ライセンス事業は、DVD販売や番組関連商品の売上が好調で増収。
事業（催事・興行）は、イベント中止・縮小が相次いだ影響で大幅減収。

(単位：百万円)

部 門	2021年3月期	前年差	主な増減要因
事業 (催事・興行)	2,698	△4,643	有料配信や「東大王」新イベントが健闘も、感染症拡大の影響で大型演目の中止・縮小が相次ぎ、大幅減収
映画	1,234	△407	昨夏公開の日向坂46の映画のDVD販売・配信が好調も、他作品の公開延期や入場制限等の影響で、減収
アニメ	590	△313	配信や海外番販等二次利用全般が好調も、前年に比べ新作の本数が少なかったことから、減収
メディア事業	9,105	△1,896	BTSの新作ライブ等、自番組の集中編成のヒットでCS事業が堅調に推移。配信事業移管で、減収
海外事業	2,246	△282	海外でのフォーマット販売や現地制作が停滞した影響で、減収
ライセンス事業	2,279	989	「MIU404」等新作ドラマのDVDや番組関連商品が大ヒットしたほか、ショッピングも好調で、大幅増収
旧拡張領域事業	287	△308	他部署に業務を移管した影響で、減収
計	18,441	△6,862	

グループ会社の業績

- ▶ 当期は、スポット収入は減少したものの、費用削減効果で減収ながら増益。
来期は、タイム・スポット収入の増加を見込むが、営業利益以下、減益予想。

(単位：百万円)

TBSラジオ	2020年3月期	2021年3月期	前年差	2022年3月期 予想
売上高	9,567	8,492	△1,074	8,588
営業利益	113	482	368	319
経常利益	105	488	382	328
当期純利益	64	299	234	206

- ▶ 当期は、ショッピング好調も、タイム・スポット収入減少等で減収減益。
来期は、スポット収入の増加等を見込み、増収増益予想。

(単位：百万円)

BS-TBS	2020年3月期	2021年3月期	前年差	2022年3月期 予想
売上高	16,849	15,374	△1,475	15,606
営業利益	1,640	1,612	△27	2,002
経常利益	1,686	1,656	△29	2,043
当期純利益	1,145	1,079	△65	1,382

- ▶ 当期は、店舗休業や時短営業の影響が大きく、減収減益。
来期は、PLAZA店舗の売上増加等により、増収増益予想。

(単位：百万円)

スタイリングライフ グループ (連結)	2020年3月期	2021年3月期	前年差	2022年3月期 予想
売上高	70,010	56,004	△14,006	60,000
営業利益	3,412	941	△2,470	1,850
経常利益	3,396	885	△2,510	1,770
当期純利益 又は損失 (△)	1,617	△626	△2,244	325

2022年3月期の 業績予想

- ▶ 放送事業の回復や配信事業の伸長などにより、増収増益を想定。
当期純利益は、投資有価証券売却益の反動減により減益。

(単位：百万円)

TBSテレビ	2022年3月期	前年差
売上高	205,601	15,986
営業利益	4,171	1,722
経常利益	6,173	1,436
当期純利益	4,105	△17,687

	2022年3月期	前年差
タイム	+2.4%	1,892
スポット	+11.6%	8,120
番組原価	97,415	9,005

▶ 連結全体では増収かつ経常利益までの増益の見通し。
 コロナ禍からの回復や、配信事業の拡大などを見込む。

(単位：百万円)

連結	2022年3月期	前年差
売上高	342,700	17,017
営業利益	11,500	658
経常利益	19,500	266
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,200	△15,872

セグメント別予想	売上高		営業利益	
	2022年3月期予想	前年差	2022年3月期予想	前年差
メディア・コンテンツ	266,700	12,921	3,400	518
ライフスタイル	60,000	4,016	1,200	918
不動産・その他	16,000	79	6,900	△779
連結	342,700	17,017	11,500	658

補足資料

メディア・コンテンツ/ 不動産・その他 (1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ (16社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグローディア

(株) CS-TBS

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント(株)

TBS International, Inc.

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株) 赤坂グラフィックスアート

(株) アックス

OXYBOT(株)

(株) ティ・エル・シー

(株) TBSテックス

(株) 東通

TBS ACT
2021年4月1日
(株)TBSアクトに吸収合併

ライフスタイル(3社)

(株) スタイルングライフ・ホールディングス 他2社

不動産・その他(5社)

赤坂熱供給(株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

持分法適用(3社)

(株) プレースホルダ

(株) プレミアム・プラットフォーム・ジャパン

(株) WOWOW

(※ []内は前年同期差 単位:%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	③ 3.4 +0.2 UP	④ 5.2 [△0.1]	④ 5.1 [△0.2]	③ 2.9 +0.3 UP
日本テレビ	①4.6	①7.0	①6.6	①4.0
テレビ朝日	②4.1	③6.1	②6.2	②3.5
テレビ東京	⑥1.6	⑥3.9	⑥3.4	⑥1.0
フジテレビ	⑤3.1	⑤4.8	⑤4.7	⑤2.6
NHK	③3.4	②6.5	③5.5	④2.8
PUT	23.3	38.1	35.9	19.7

(2020/3/30~2021/3/28: 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ: 関東地区)

(※ []内は前年同期差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	④ 6.4 +0.4 UP	④ 8.8 [△0.3]	④ 8.9 [△0.2]	③ 5.8 +0.7 UP
日本テレビ	①8.4	②11.5	②11.1	①7.6
テレビ朝日	②8.0	③10.8	①11.2	②7.0
テレビ東京	⑥3.0	⑥ 6.8	⑥ 6.2	⑥2.1
フジテレビ	⑤5.8	⑤ 8.1	⑤ 8.0	⑤5.2
NHK	③6.6	①11.6	③ 9.9	④5.6
PUT	41.9	61.1	58.4	37.2

(2020/3/30~2021/3/28：週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。

◇お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号

株式会社TBSホールディングス 財務戦略局 IR推進部

Tel : 03-3746-1111 (代表) HP : <http://www.tbsholdings.co.jp/ir/>